

新潟県リコーダー教育研究会 会報 H26-2号

平成26年10月4日(土) 発行

# さえずり



会長 小池 純夫  
(南魚沼市立塩沢小 教頭)

## 「リコーダー人」と呼ばれましょう

副会長 前田 英也



秋もたけなわの頃となり、どこの学校でも文化祭や音楽会をめざして、熱のこもった練習が積み重ねられていることと思います。

音楽室はもちろん、毎日どこかの教室から熱心な歌声や楽器の音色が響いてきます。指はワープロのキーを打ち、目はパソコンの画面を追っていても、耳と心は練習をしている子どもたちの傍らに飛んでいきます。

これまでの私の経験では、現場で指導しきれていないのが、打楽器とリコーダーではないでしょうか。マレットの持ち方やティンパニーの調律、打面の選択・・・等々。

リコーダーも然り。いや、簡単に音を出せて、教師自身も子どもの頃に触れたことのあるリコーダーだけに、無意識で子どもたちに無理を強いている場面があるのでは？

その1 背伸びをしない選曲として、音楽会の発表曲に「笛星人」の中から「ブラックホール」を選んだ3学年。長い「シ」の音が頻繁に出てきます。子どもたちもそこへ来ると安心して、思い思いの「シ——ッ」。

＜ア—ッ、「シ」は息圧でピッチが大きく変わるから 子どもたちに息の強さを意識させれば、ずっときれいな音でみんながもっと楽しめるのに・・・＞

その2 早いリズムの中で、「ラ」「bシ」「ド」の連続が繰り返されるので、子どもたちは指がままならず、ピロピロッという余計な音が入ってしまう。

＜ウ—ン、「bシ」で代え指を使えば、もっと楽に吹けるのに・・・＞

その3 十六分音符で「ラ」「ド」「レ」の連続が30回以上も繰り返される。

＜オヤオヤ、この指使いは子どもには無理！この編曲者はリコーダーのことを知らない人なんだから、このまま練習をさせることはあきらめて、もっと簡単で効果の出る方法を考えてやればいいのに・・・＞

かつて、そう感じながらも何だかおせっかいのようで、つい口をつぐんでしまう自分がいました。

体育を専門教科にしている人の中には、学校全体への気配りや熱心な教材研究と熱心な教材開発、長幼の序をわきまえて明るく誠実に勤めることを自分に課すために、あえて自身を「体育人(じん)」と呼ぶ人が少なくない。良いと信じたら他の教師にどんどん提案する面も、共通しているようです。

リコーダーの音色に惹かれ、リコーダーの良さを広く教育界に伝えていこうと志した私たち「リコ研」です。夏の研修会や例会で身に着けたリコーダーの知識と経験をどんどん周りに発信し、手軽な楽器で音楽教育の可能性を広げることに情熱を傾ける、繊細で和気あいあいでちょっとおせっかいな「リコーダー人(じん)」となりましょう。



## 夏季研修会に参加して ～ 受講された皆様の声

### 北村アンサンブルコース 山本綾子(神奈川)

「新潟県でリコーダーの合宿があります。参加しませんか？」とお誘いを受け、今回初めて神奈川県からやって参りました。怖いもの知らずとはまさにこのこと、アンサンブルコースを選択して楽譜を見た第一声は「これを初見で?!」…正直、怖気づきました。

それを払拭して頂いたのは、講師の北村先生による具体例盛りだくさんの解り易いレッスンと、その日初めてご一緒させて頂いた方々の寛大さ溢れる優しさでした。心地よい緊張感と演奏する楽しさの両方を実感することができ、参加して本当に良かったです。

このように充実した時間を過ごすことができ、満足度の高い合宿でしたが、若干、演奏曲数が多いかな?と感じました。技量の問題ですが、私では消化不良の曲もあり、少し残念に感じた部分がありました。次回へ一考頂けると幸いです。

次回、日程が合えば再び参加したいと思っております。本当にありがとうございました。



### 北村アンサンブルコース 小松裕子(神奈川)

当日手渡された曲は、純正律の響きが難しい曲や、変拍子の曲、11声部の曲など大変魅力的なものでした。しかし良く見ると、初見にしては難曲ばかり。「老眼を理由にごまかそう。」と気合い?を入れ挑みました。

新潟の先生方のレベルの高さはわかってはいたものの驚きで、ブランデンブルグ協奏曲No.6の上声2部でも、皆様初見で軽やかに吹いていらっしゃいました。

お蔭さまで気を緩める暇もなく、緊張と充実の二日間になりました。



出発前、皆様の辞書に中止の文字は無いと聞いておりましたが、リコーダーや仲間を愛して止まない、温かく素晴らしい響きの中で心地よい体験をさせて頂き、その辞書は屈強なものであるとわかりました。

また、北村先生のユーモア溢れる御指導は細やかで、自分の欠点を再認識でき、次への目標になりました。

郷土料理、お酒、温泉などは旅を満喫するに充分過ぎましたし、深夜まで続いた親睦会も楽しく、友人の輪が広がる副産物も得ることができました。お世話になった皆様に感謝とお礼を申し上げます。そして、またの機会を楽しみに致しております。

**塩川 夏来**

普段体験できないことをたくさんしました。周りの先生方はとても上手で、自分は無力だと思っていました。しかし先生方と合奏してみて、自分の実力がよくわかり、これから自分がしなくてはならない課題がたくさん見つかりました、研修で教わったことをしっかり復習しこれからの部活で生かしていき、そしてリコーダーコンクールで後悔のない演奏をしてきたいと思います。

**瀧澤 菜月**

私はリコーダー研修に参加して、多くのことを学ぶことができました。リコーダーの良さ、リコーダーで演奏する楽しさを改めて感じることができ、とてもいい機会になりました。リコーダー研修会で学んだことを、日々の練習にいかしていきたいです。

**高野 杏香**

今回は初めて参加させてもらいましたが、とてもいい経験になりました。高校生になってから本格的にリコーダーを始めましたが、参加させてもらい、これからの練習に生かせることがたくさん学べて良かったです。また参加させていただける機会があったら、参加したいです。

**井口 彩菜**

私は、リコーダー研修会に参加してリコーダーを吹く楽しさを知りました。今までの私にとってリコーダーは、授業でしか使わないもので、そんなに魅力のある楽器ではありませんでした。ですが、リコーダー研修でたくさんの曲をいろいろなリコーダーで合奏してみて、リコーダーでもこんなにきれいなハーモニーが奏でられることを知り、初めてリコーダーが楽しいと感じました。そして、リコーダーが上手な方々に囲まれて吹くことができ、きれいな音色を間近で感じることもできたので、本当に参加して良かったと思いました。リコーダー研修会で学んだことを生かし、今後の練習や大会に臨みたいと思います。

**貝瀬 ななみ**

今回は初めての参加だったのですが、とても勉強になりました。私たち八海高校は大会に向けて練習をしています。今年は去年より良い演奏が出来るように、今回の研修会で勉強させていただいたことを生かしで、頑張っていきたいと思います。

**森山重美(先生)**


我が部は吹奏楽部ながら、毎年部員が1桁という慢性人数欠乏症でコンクールにも臨めず、苦肉の策で数年前からリコーダー合奏をしています。楽器の演奏ということでは変わらず、息遣いや曲の解釈、楽譜の読み方など共通項はたくさんあるので、今では年度の半分ほどをリコーダー練習に費やしています。どうせやるなら上手になりたい、との思いで研修に参加させていただきましたが、一人一人の思いは違えど、それぞれに何かしら感じ、得るものは多かったようです。簡単だから難しい、だから面白いと思ってくれたらと願うばかりです。



## 「新潟クラシックストリート2015」、「長岡音・おと・オトの街」に合奏(重奏)メンバーとして参加しませんか！？

3年目になります、標記2つのイベントに参加してくださる方を募集いたします。

- 1 開催期日 2015年5月連休日の2日間程度
- 2 練習開始 2015年1月から
- 3 練習場所 主にリリックホールスタジオ
- 4 今までの説明
  - ・ 昨年度は、弦楽5重奏(モーツァルト)を10人で合奏し、なかなかの出来栄になりました。
  - ・ 今年度は、5重奏で、ロンデッリ(シュティープス)他。現代ものにこわごわ挑戦してみました。難しい中にも面白さを発見し合い、楽しくスリルのある演奏に仕上がりました。
  - ・ いずれも10回程度の練習回数でした。減らしたいと思います。
- 5 申込み先 [mitu3tu@gmail.com](mailto:mitu3tu@gmail.com) [樋熊]
  - ・ 希望パートや演奏したい曲目などありましたら添えてお願いいたします。
  - ・ 不明な点等についての問い合わせもお寄せください。



### <<編集後記>>

夏季研修会に参加された皆様の声を久しぶりに掲載させていただきました。快く原稿をお寄せ下さいました、山本様、小松様、そして八海高校の森山先生と生徒さん、ありがとうございました。直前に写真をお願いする失礼もありましたこと、お許してください。m( )m

会員の声を1号につき4人くらい、400字程度お願いする計画が、とん挫いたしました。3号にはと思っています。宜しく申し上げます。

3号は金子健治先生に、前回の続きをお願いする予定です。

- ◆ 皆さん原稿はこちらにお願いします>(\*^.\*^\*) [mitu3tu@gmail.com](mailto:mitu3tu@gmail.com) です。

編集 [樋熊]

